

第350回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

平成31年3月27日

第350回三木市議会定例会の閉会に当たりまして、一言、ごあいさつを申し上げます。

議員の皆様には、去る2月25日の開会以来、本日まで31日間に渡り、終始御精励を賜り、平成31年度当初予算をはじめ、多数の重要案件などについて、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なる御審議をいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

このたびの議会におきまして、議員の皆様から賜りました御意見、御提案等につきましては、真摯に受け止め、新年度の予算執行並びに今後の市政運営に努めてまいります。

なお、第7号議案「平成31年度一般会計予算」中、三木ホースランドパークふれあいの森にある「ふれあいの館」内レストランの改修並びに散策路の整備費等5,000万円の費用が減額修正されました。これらの整備費用については、ふれあいの森全体をリニューアルし、当市の新たな観光名所として集客

を図るために必要不可欠であると考えた上での予算提案でありましたが、このたびの御決定の趣旨を尊重し、市の公共施設全体の計画での位置づけを明確化するなど、今後さらなる検討を加えてまいります。

さて、日増しに暖かくなり、春の訪れが感じられる季節となってきました。

3月は、市内の小・中・特別支援学校で卒業式が執り行われ、小学6年生668人、中学3年生665人、特別支援学校中学部2人、合わせて1,335人が、期待と不安のなか、希望に胸を膨らませ、母校を巣立ちました。

三木市の宝である子どもたちの中には、やがて進学、就職をきっかけとして、都市部へ、あるいは世界へ、活躍の場を求めて転出される方もいらっしゃるでしょう。

そのような子どもたちが、一旦三木市を離れたとしても、10年、20年先には、また三木に戻ってきたいと思えるようなまちづくり、生まれ育った故郷で、第二の人生を安心して送ることが出来る環境づくりを、これからの施策にしっかりと取り入れるとともに、温かい人々の輪で、市民の誰もが誇りを持って暮らせるまちづくりに、一層、邁進してまいります。

議員の皆様の任期もいよいよ間近に迫ってまいりました。議員の皆様におかれましては、重要かつ困難な問題が山積したこの4年間、市民の代表として重責を全うされ、三木市の発展と市民福祉の増進のため、御協力を賜りましたことに対し、市民を代表して深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

引き続き立候補される皆様には、めでたく当選の栄に浴され、再びこの議場で市政発展のため御活躍されますことを御祈念申し上げます。

最後になりましたが、くれぐれも健康に御留意いただき、「誇りを持って暮らせるまち三木」のまちづくりに御指導、御協力をいただきますようお願い申し上げまして、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。